

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	滝乃川学園放課後等デイサービス さにー		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会福祉法人が運営しており、施設内に活用できる様々な資源(園庭、リハビリ室、畑、小川等)があり、環境的に恵まれている。	室外での活動(園庭での遊具遊び、畑活動、川遊び)や他部署(高齢者、成人のジュース屋)との交流。	他部署の方を自部署にお招きして行う交流を企画する。
2	法人内に様々な専門職(心理士、看護師、作業療法士…)がいて、支援に関わってくれる。他部署スタッフの応援勤務がある。	利用児の支援に対するアドバイスをいただく。保護者に対する専門家からのアドバイスをもらう。他部署スタッフが働きやすい声掛けや指示出しを行う。	保護者と専門家が利用児について直接話す機会を設ける。他部署への応援勤務に就く。
3	施設的环境に恵まれているが、地域に積極的に出て地域資源を活用しているため活動の種類が広い。	活用できそうな地域の資源や地域のイベントをネットや市報等で探している。	活用したことのない地域資源の活用をする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた施設を目指しており、不審者侵入などの安全管理に不安定な点がある。	いつでも誰でも入れるよう門がない。敷地内に様々な人が出入りしており、不審者の発見が遅れる。利用児と個別対応中に不審者に襲われた際に利用児を守れるかの不安がある。	不審者対応の流れや対処方法を全職員で話し合う。不審者対応の訓練を行う。
2	法人内で毎年人事異動があり、スタッフの入れ替わりがある。また、利用児は男児が多いが、男性スタッフの配置が少ない。	法人内でも人材育成力がある部署なので、若手を育てる部署としての役割がある。他部署にも男児、男性の利用者が多い。	法人内での役割を理解しつつ、人員配置について法人に働きかけていく。男性スタッフの獲得に力を入れるため男性スタッフが興味を持ったりメリットに感じたりできる福利厚生などを検討する。
3	法人内の他部署に比べると平日に行われる外部研修や外部見学に行くことが難しい。	研修等にスタッフが行くと支援の質が下がる。	オンライン研修やアーカイブ研修を活用する。スタッフが研修に行く日には他部署からの応援スタッフを事前に配置し、安全な支援に努める。